

人を識別し得る記述がある場合及び法人等の財産権等を侵害するおそれのある記述がある場合には、当該箇所を伏せ又は当該疑いを公表せず、質疑者のみに回答することがある。

5. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所 平成30年7月24日 11時00分
山口県下関市永田本町二丁目7番1号
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産大学校本館2階校務部会議室
- (2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所 平成30年7月23日 17時00分
3. ①に同じ。

6. その他

- (1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨。
- (2) 入札保証金及び契約保証金 免除。
- (3) 入札の無効 本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。
- (4) 契約書作成の要否 要。
- (5) 落札者の決定方法 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
- (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。
- (7) 詳細は入札説明書による。

7. 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約先
次の①及び②いずれにも該当する契約先
① 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等^{※注1}として再就職していること
② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること^{※注2}
- なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。
※注1 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えたと認められる者を含む。
- ※注2 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。
- (2) 公表する情報
上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。
① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名
② 当機構との間の取引高
③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨
3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨
- (3) 当機構に提供していただく情報
① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高
- (4) 公表日
契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）
- (5) その他
当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認いただくとともに、所

要の情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了承ください。

8. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文部科学大臣決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge_request/note_contract.pdf）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

業務仕様書

1. 件名 作業環境測定業務

2. 業務目的 本業務は、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第65条の規定に基づき、該当物質の作業環境測定を関係法令等に基づき実施することを目的とする。

3. 業務場所 山口県下関市永田本町2-7-1
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産大学校 ※詳細は別紙参照

4. 履行期限 平成31年 3月15日

5. 業務内容

(1) 測定時期

第1回目測定日は8月を予定する。また、第2回目測定日は2月を予定する。なお、詳細については担当職員から指示する。

(2) 業務の詳細

① デザイン

契約締結後、速やかに、担当職員等と協議して測定計画を立て、測定計画書を提出すること。

② サンプルング及び分析

試料の採取及び分析（解析を含む）は、必要な資格を有している者が作業環境測定基準（昭和51年4月22日付け労働省告示第46号）に基づき実施すること。

③ 測定結果の評価及び報告書作成

測定結果の評価は、作業環境評価基準（昭和63年9月1日付け労働省告示第79号）に基づき、測定結果と管理濃度を用いて管理区分を判断すること。

報告書は、作業環境測定の記録のモデル様式（昭和57年2月4日付け基発第85号）に従い、履行期限内までに紙媒体2部、電子媒体（CD-R）1部提出すること。

④ 測定場所、測定物質及び分析方法

別紙のとおり

6. その他

(1) 試料の測定を行うにあたっての機材等の経費については、受託者が負担すること。

- (2) 本業務実施にあたり、建物、機器類等に損害を生じた場合、受託者の責任で回復又は弁償すること。
- (3) 本業務委託の履行を通じて知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。なお、本業務終了後も同様とする。
- (4) 作業中の安全確保については、万全を期すとともに、万一事故等が発生した場合は、速やかに本校に連絡し、受託者の責任において対処すること。

別紙

No.	測定場所	部屋面積 (㎡)	物質名	分析方法	局所排気装置の有無	有機溶剤 特定化学物	作業環境日時	担当教員名
1	海洋機械工作実習工場1F 工作実験室Ⅱ	239.79	アセトン	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		田村
2	海洋機械工作実習工場1F 工作実験室Ⅱ	239.79	ノルマルヘキサン	ガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		
3	内燃・制御実験棟2F燃料・潤滑油実験室	123.73	ジクロロメタン	ガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		津田・山西
4	水産生物飼育培養棟2F藻類培養室	40.12	ホルムアルデヒド	高速液体クロマトグラフ分析方法	無	特定化学物質		須田・南條
5	海洋生産実験・教室棟1F資源管理学研究室	40.12	ホルムアルデヒド	高速液体クロマトグラフ分析方法	無	特定化学物質		若林
6	二学科共用実験棟1F食品安全利用学講座研究室	41.91	ホルムアルデヒド	高速液体クロマトグラフ分析方法	無	特定化学物質		前田・谷口・大久保
7	二学科共用実験棟1F食品安全利用学講座研究室	41.91	メタノール	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		
8	二学科共用実験棟1F食品安全利用学講座研究室	41.91	アクリルアミド	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	特定化学物質		前田・谷口・大久保
9	二学科共用実験棟1F食品安全利用学講座研究室	41.91	1-ブタノール	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		
10	二学科共用実験棟2F水族防疫学実験室	80.85	キシレン	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		近藤・安本
11	二学科共用実験棟2F水族防疫学実験室	80.85	アセトン	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		近藤・安本
12	二学科共用実験棟2F水族防疫学実験室	80.85	ホルムアルデヒド	高速液体クロマトグラフ分析方法	無	特定化学物質		近藤・安本
13	二学科共用実験棟2F水族防疫学実験室	80.85	メタノール	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		近藤・安本
14	二学科共用実験棟3F水産植物学実験室	98.75	アセトン	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		村瀬・阿部
15	二学科共用実験棟3F水産植物学実験室	98.75	エチルエーテル	ガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		
16	二学科共用実験棟3F水産植物学実験室	98.75	クロロホルム	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		阿部
17	二学科共用実験棟3F水産植物学実験室	98.75	カドミウム及びその化合物	吸光光度分析又は原子吸光分析方法	無	特定化学物質		
18	二学科共用実験棟1F水産動物学実験室	49.35	ホルムアルデヒド	高速液体クロマトグラフ分析方法	無	特定化学物質		荒木
19	共同研究棟1F遺伝子の多様性実験室	49.35	ホルムアルデヒド	高速液体クロマトグラフ分析方法	無	特定化学物質		田上・高橋
20	二学科共用実験棟 プランクトン研究室(A科2F)	53.84	メタノール	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		山崎
21	二学科共用実験棟 プランクトン研究室(A科2F)	53.84	アセトン	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		
22	二学科共用実験棟 プランクトン研究室(A科2F)	53.84	ノルマルヘキサン	ガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		
23	共同研究棟2F 実験室	49.35	クロロホルム	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		宮崎・河邊
24	共同研究棟2F 実験室	49.35	メタノール	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		
25	共同研究棟2F 実験室	49.35	ノルマルヘキサン	ガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		前田・谷口・ 大久保
26	二学科共用実験棟1F 化学第一実験室	238.00	クロロホルム	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		
27	二学科共用実験棟1F 化学第一実験室	238.00	メタノール	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		古下・福田・ 辰野
28	二学科共用実験棟4F 微生物実験室	72.57	メタノール	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		
29	二学科共用実験棟4F 微生物実験室	72.57	クロロホルム	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		
30	二学科共用実験棟4F 微生物実験室	72.57	アセトン	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		宮田・杉浦
31	二学科共用実験棟2F 食品機能学研究室	60.29	アセトン	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		
32	二学科共用実験棟2F 食品機能学研究室	60.29	エチルエーテル	ガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		
33	二学科共用実験棟2F 食品機能学研究室	60.29	クロロホルム	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		
34	二学科共用実験棟2F 食品機能学研究室	60.29	酢酸エチル	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		
35	二学科共用実験棟2F 食品機能学研究室	60.29	ノルマルヘキサン	ガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		
36	二学科共用実験棟2F 食品機能学研究室	60.29	メタノール	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		
37	二学科共用実験棟2F 食品機能学研究室	60.29	アクリルアミド	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	特定化学物質		
38	共同研究棟2階	36.00	アクリルアミド (45%アクリルアミド溶液)	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	特定化学物質		臼井
39	共同研究棟2階	36.00	メタノール	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		池原
40	二学科共用実験棟1F 食品機能学研究室	51.26	メタノール	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		
41	二学科共用実験棟1F(生物生産学科側1F) 遺伝育種学研究室	92.49	キシレン	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		吉川
42	二学科共用実験棟1F(生物生産学科側1F) 遺伝育種学研究室	92.49	ホルムアルデヒド	高速液体クロマトグラフ分析方法	有	特定化学物質		
43	二学科共用実験棟1F(生物生産学科側1F) 遺伝育種学研究室	92.49	メタノール	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	有	有機溶剤		舟艇管理員
44	舟艇管理棟(艇庫)	433.5	キシレン	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		
45	舟艇管理棟(艇庫)	433.5	1-ブタノール	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		
46	舟艇管理棟(艇庫)	433.5	エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		
47	舟艇管理棟(艇庫)	433.5	アセトン	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		
48	舟艇管理棟(艇庫)	433.5	トルエン	吸光光度分析又はガスクロマトグラフ分析方法	無	有機溶剤		